



JAWS DAYS 2025

connecting the dots



みんなで作る JAWS-UG イベントのインフラ

あなたも参加してみませんか？

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

自己紹介

画: ぼへぼへさん <https://qiita.com/bohebohechan/items/891120175efc1b3cc7c4>



AWS Samurai 2017 (個人)
AWS Samurai 2020 (CLI専門支部)



今日まで
JAWS-UG事務局長



AWS Community Hero

JAWS-UG CLI専門支部 支部長

JAWS-UG 朝会 運営

JAWS-UG アーキテクチャ専門支部 運営

JAWS-UG IoT専門支部 設立メンバー



ハッシュタグ: #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

JAWS-UGでは年間を通じてさまざまなイベントを開催しており、コミュニティのメンバーが協力してそのインフラを構築・運営しています。

そこでは、AWSのパワーユーザーならではの視点で技術トレンドを追いつつ、時間や予算の制約などの現実との擦り合せが行われています。

自分はそんな話を聞きたい！みんなに聞いてもらいたい！

- JAWS PANKRATION 2024
- JAWS Festa 2024 in 広島
- JAWS-UG 配信部
- JAWS-UG事務局 インフラチーム
- JAWS Days 2025 (現在稼動中!)

JAWS PANKRATION 2024のインフラ

自己紹介

- 名前: 榊原 和哉 (@Kazuya80735)
- 仕事: インフラエンジニア(得意領域: OpenShift/サーバー周り全般)
- JAWSでの活動: JAWS配信部、週刊AWSキャッチアップ etc...



本日も話すこと

- JAWS PANKRATIONとは？
- インフラ構成
 - 構成図
 - Webサイト
 - 配信システム
 - 物理構成(登壇者映像の送出、文字起こし)
 - 配信基盤
 - 映像/翻訳
 - 要約/Viewer Count
 - 配信サイト/登壇者控室/Ask the Speaker
- 最後に



本日も話すこと

- 今回時間が8分のため、より詳細な内容はこちらの資料をご確認ください
 - JAWS PANKRATION 2024 - re:Trospective -
 - <https://www.youtube.com/watch?v=3vGorUtNDU8>
 - Webサイト
 - <https://speakerdeck.com/takuyay0ne/20241004-jpk2024-re-trospective>
 - 配信バックエンド/技術選定
 - <https://speakerdeck.com/yoshimi0227/jaws-pankration-2024-pei-xin-sisutemunoshao-jie>
 - 台湾のCommunity Dayで発表した資料
 - <https://speakerdeck.com/syoshie/behind-the-scenes-of-24-hour-global-online-event>



本日は話すこと

- builders.flashの記事
 - <https://aws.amazon.com/jp/builders-flash/202410/jaws-pankration-2024/>



JAWS PANKRATIONとは

JAWS PANKRATION 2024とは

- JAWS-UGが主催する24時間のオンラインイベント
- オリンピックイヤーに開催(2021, 2024)
- CFPはAWSのタイトルホルダーのみが応募可
 - AWS Hero
 - AWS Community Builder
 - AWS Ambassador
 - AWS Employee
 - Jeff Barr
 - etc...



JAWS PANKRATION 2024 -Theme & Aim-

“ No Border

Fusion of localization and globalization
Remove language barriers further

- We want to create an event where talented engineers from all over the world can speak on stage, even if **YOU CAN'T SPEAK ENGLISH.**
- We have prepared an environment with **multilingual translation** functionality for the distribution environment.

aws © 2025, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates. All rights reserved.

JAWS PANKRATION 2024とは

- イベントのコンセプト:
 - 日本初のグローバルイベントを開催すること
 - 海外の優れたエンジニア達とのリレーションを図ること
 - 国内にいるローカルエンジニアをグローバルイベントに登壇してもらうこと
 - JAWS-UG の価値観 (ステートメント) でもある「Find new heroes」による新たなヒーローへの機会の提供
- イベントテーマ: No Border
 - ランゲージバリアを取り払って、純粋にAWSの技術に優れた人が登壇できるイベントを開催する

インフラ構成

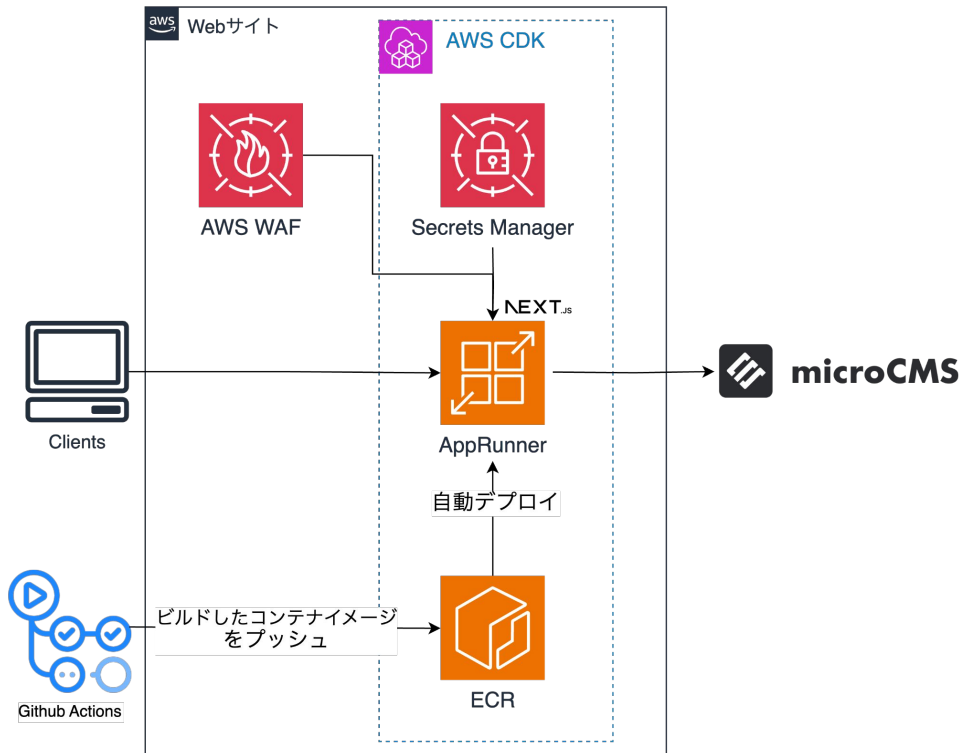
目次

- 構成図
- Webサイト
- 配信システム
 - 物理構成(登壇者映像の送出、文字起こし)
 - 配信基盤
 - 映像/翻訳
 - 要約/Viewer Count
 - 配信サイト/登壇者控室/Ask the Speaker

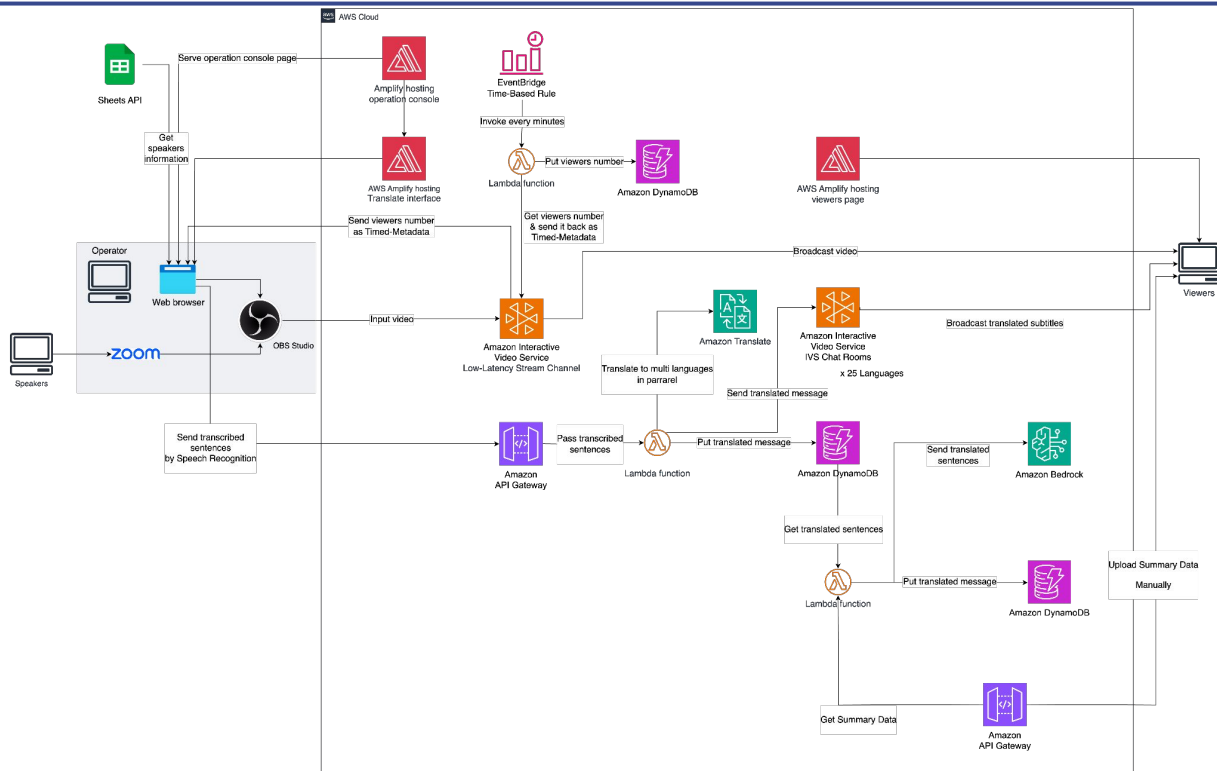


構成図

構成図(Webサイト)



構成図(配信基盤)



Webサイト

Webサイト

言語切り替えボタン

- JAWS DAYS 2024のサイトをベースに機能追加
 - 国際化対応(日本語/英語)
 - microCMSを用いた記事投稿
 - microCMSを通して記事投稿ができるように
 - Bedrockによるセッションサマリ

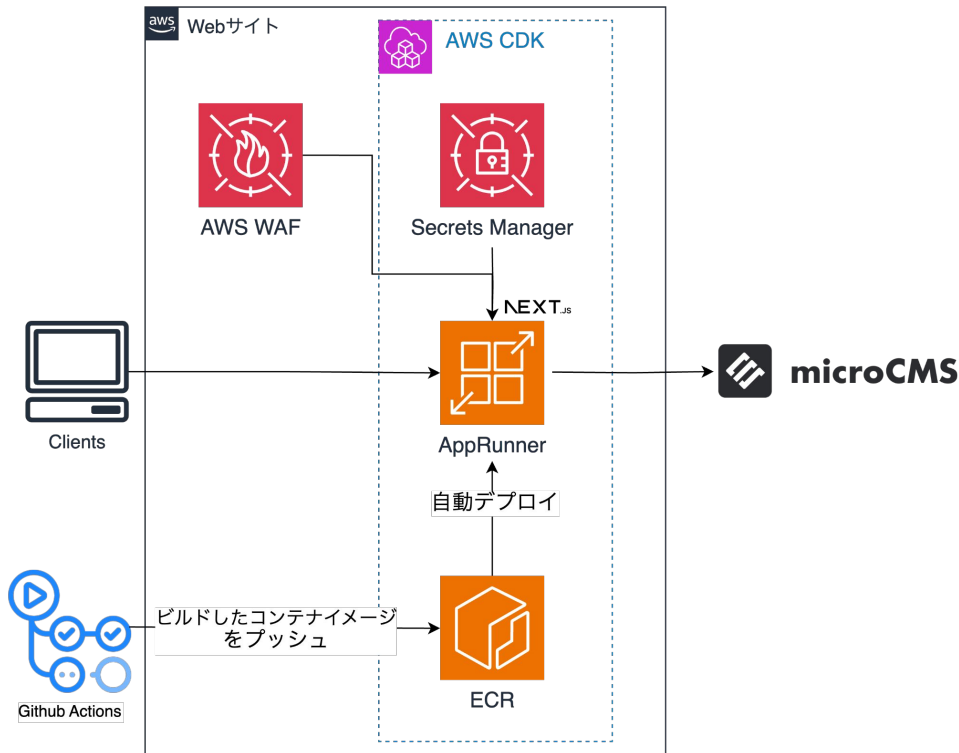


The presentation is about implementing self-service for engineers in AWS Identity Center. The speaker, Yusuke from Yokohama, works as a software engineer at mixi and is involved in community activities. The session covers: 1. Overview of AWS Identity Center 2. Issues with centralized permission management 3. Proposed solution: delegating permission management AWS Identity Center simplifies single sign-on and user provisioning by connecting employee IDs to existing identity services. It allows users to access multiple AWS accounts with one set of credentials. The speaker discusses the challenges of centralized permission management in large organizations, where the central identity team may struggle to handle the increasing number of developer teams efficiently. To address this issue, the speaker proposes delegating AWS Identity Center management to unit-level identity teams. This approach allows for more efficient review and implementation of permission changes within each unit. The presentation outlines a technical stack for implementing delegated permission management, including: 1. Infrastructure as Code (e.g., AWS CloudFormation) 2. Version control systems (e.g., GitHub) 3. CI/CD services The speaker explains an architecture using Terraform, GitHub, and GitHub Actions to realize delegated permission management. This setup includes directory-based management, pull request reviews, and automated permission application. The roles of central and unit-level identity teams are defined, with the central team focusing on overall governance and the unit-level teams handling day-to-day permission management. The main benefit of this approach is enabling self-service permission setting without central IT team intervention, potentially improving development productivity.

Webサイト

- AWS App Runner上でSSR方式のNext.jsが稼働
- Github ActionsにてコンテナイメージをビルドしてECRへプッシュ
- ECRへのプッシュをApp Runnerが感じに検知して自動デプロイ

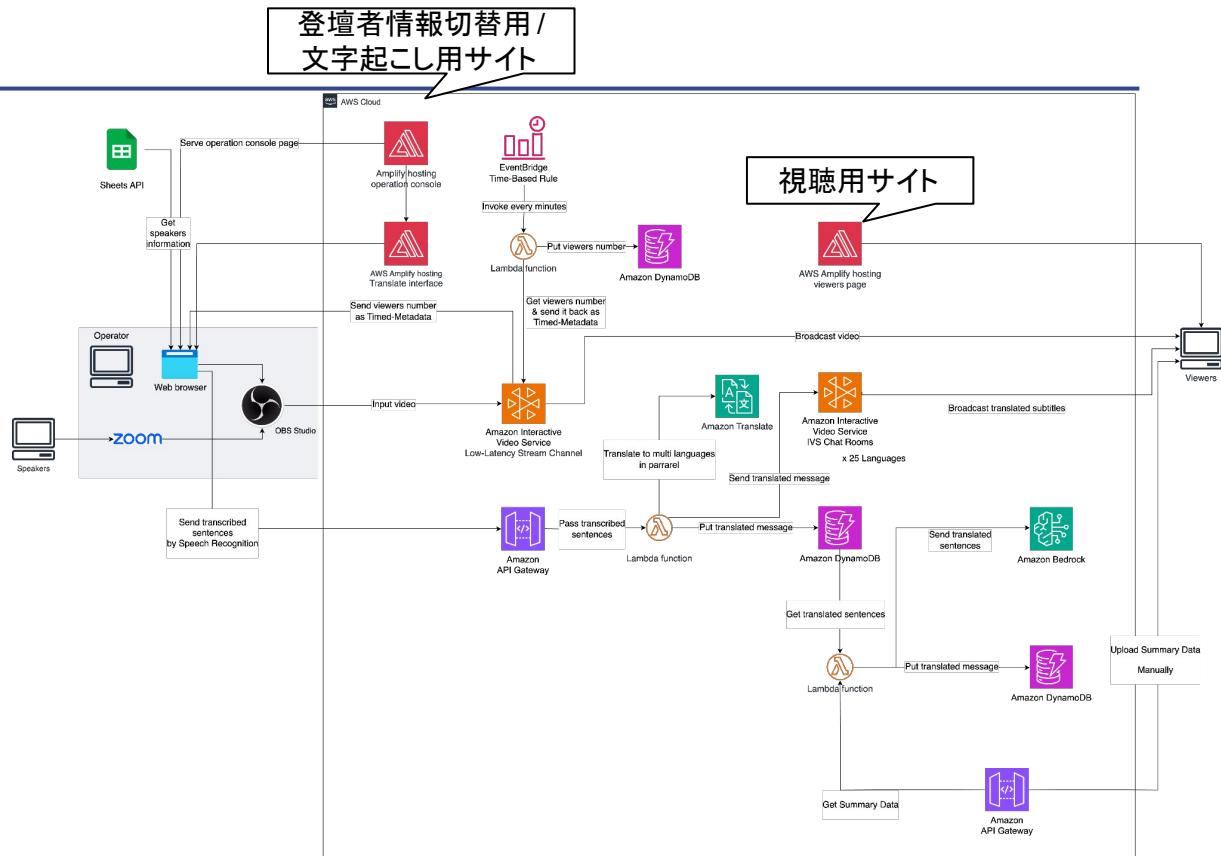
※SSR: Server-Side Renderingの略で、サーバー側でJavascriptを実行、静的コンテンツを生成する仕組みのこと



配信システム

配信システム

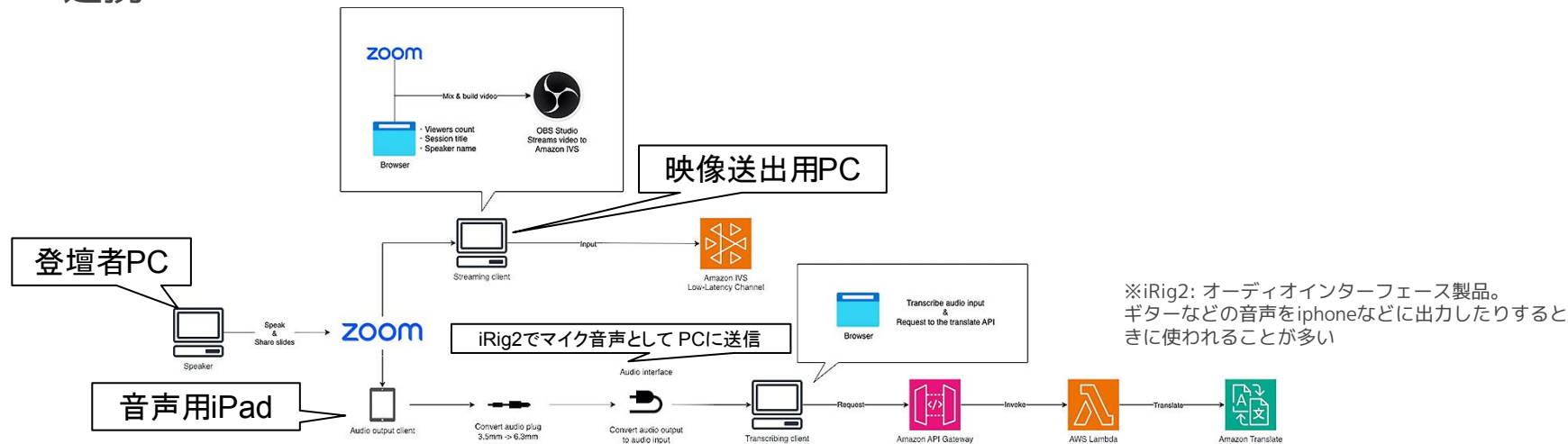
- 主なポイント
 - リソースは全てCDKで作成
 - フロントエンドはAmplifyを使用
 - 物理機器での映像/音声分離
 - 文字起こし結果はAPIで連携
 - 翻訳結果はIVS Chat(WebSocket)で送信



配信システム(物理構成)

配信システム(物理構成)

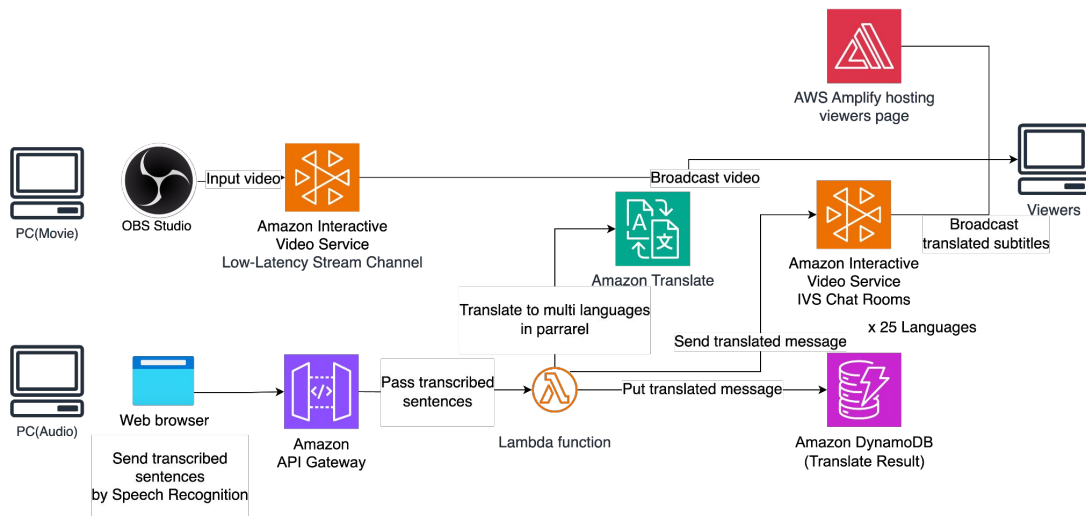
- 登壇者はZoomで発表、映像配信用PC/音声用iPadもログイン
- 映像配信用PCではOBS StudioからIVS Channelへ映像を送出
- 音声用iPadにiRig2を接続、マイク音声として音声用PCに送信
- 音声用PC上のブラウザからChromeのSpeech APIを使用、書き起こし結果をAPI連携



配信システム(配信基盤)

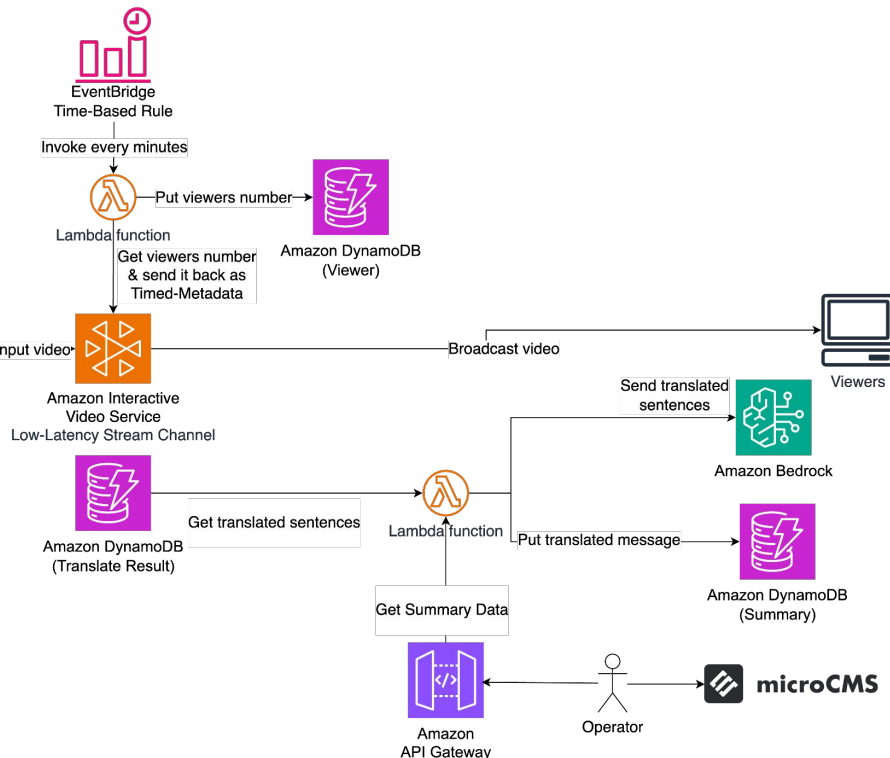
配信システム(配信基盤①: 映像/翻訳)

- 映像はIVS Channelからそのままフロントエンドへ配信
- API連携された文字起こし結果はAmazon Transcribeで翻訳、翻訳結果はDynamoDBに格納/IVS Chatに送信
- IVS Chatは25言語分用意、フロントエンドへWebSocketで連携



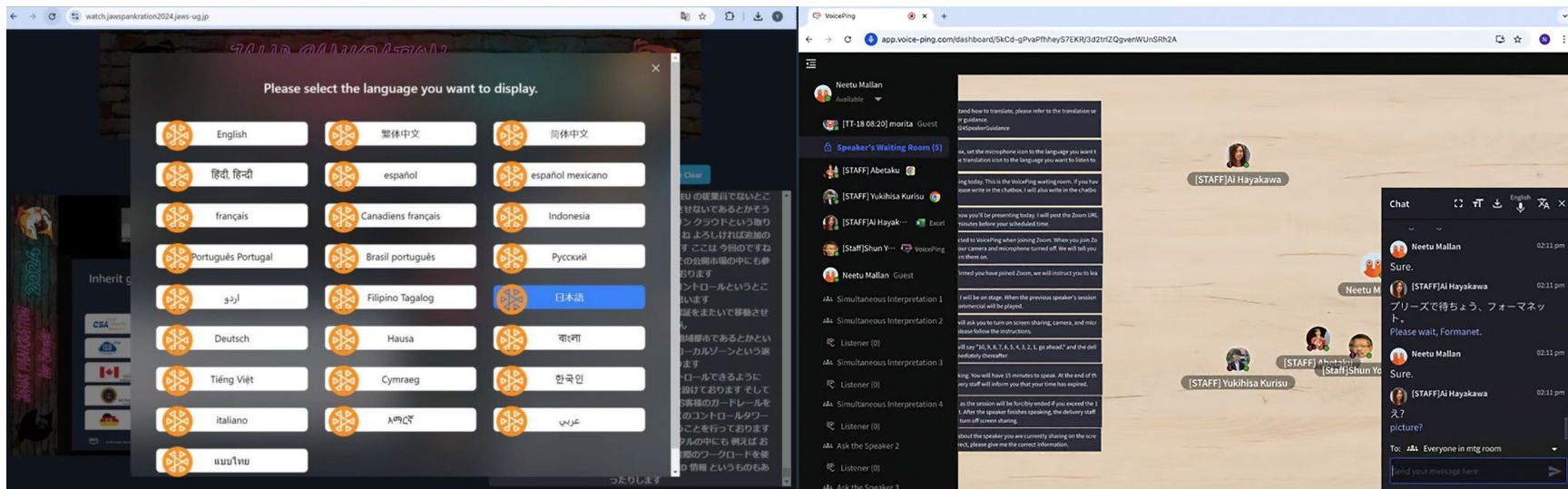
配信システム(配信基盤②: 要約/Viewer Count)

- セッション終了後、オペレーターが手動で要約APIを呼び出し、手動でmicroCMSへアップロード
- Viewer数は1分ごとに取得、IVSのTimed-Metadataとして送信



配信システム(配信基盤③: 配信サイト/登壇者控室/Ask the Speaker)

- 配信用サイトは事前に選定した25言語に対応
- 登壇者控室/Ask the SpeakerにはSaaSのVoicePingを活用、自動で文字起こし/リアルタイム翻訳をしながらやりとりができた
 - <https://voice-ping.com/blog/jp-customer-story-jaws/>



その他(トラブルシュートなど)

- インフラ構築以外にも色々な人の協力があってイベントが開催できました
 - 動画/デザイン
 - 当日のオペレーション
 - 海外登壇者とのやりとり/発送作業
 - AWS社員の方(AWSJ/IVSチーム)
 - などなど。。。
- 開催直前ギリギリまで結構構成に悩んだり、当日機能追加したりもしていました。。
 - <https://speakerdeck.com/yoshimi0227/jaws-pankration-2024-pei-xi-n-sisutemunoshao-jie>
 - 開催直前になって開発合宿をしたりもしていました

最後に

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

イベント開催にあたり、ご協力いただきありがとうございました！！



ハッシュタグ : #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

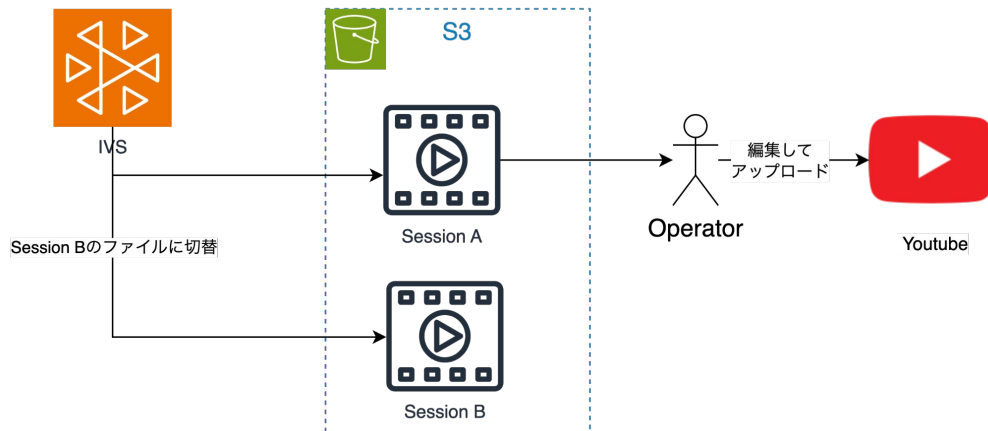
おまけ：次回開催でやってみたいこと

次回開催に向けてやってみたいこと

- 主に配信周りの観点でこんなことをやってみたいなと思っています
 - セッション終了後のアーカイブ動画アップロード
 - 文字起こしデータからの字幕作成

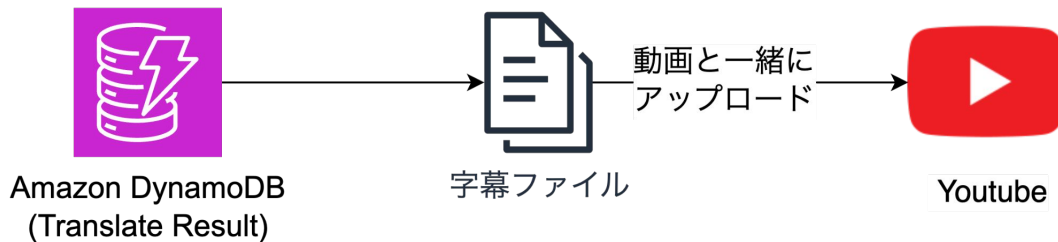
セッション終了後のアーカイブ動画アップロード

- 他の技術系カンファレンスだと、セッションが終了したアーカイブ動画をイベントと並行して上げていることがある
- 話を聞いたところ、セッション終了後に即SDカードを交換、その場で編集して人力でアップロードしているとのことでした
- IVSでも同じような仕組みは実現できないかなと思っています(IVSチームへサービスリクエスト?)



文字起こしデータからの字幕作成

- 今回のイベントの文字起こし/翻訳結果はYoutubeにアーカイブ動画には入っていません
- 結果が格納されているDynamoDBから字幕ファイルを作成できないかな・・・と思っています



JAWS FESTA 2024 in 広島 の舞台裏

自己紹介

■ 佐々木 航太(Kota Sasaki)

#40歳 #稚内出身 #野球 #AWS歴10年
#ネットワーク #セキュリティ
#新製品好き #Soracom

NECソリューションイノベータ株式会社
シニアプロフェッショナル

好きなサービス: Lambda、AppSync、CloudFormation

AWS Ambassador 2024

Japan AWS TopEngineer 2024/2022/2021

Japan AWS All Certifications 2024



JAWS FESTA 2024 in 広島に参加したひとー！！





2024.10.12.Sat @ 広島大学東広島キャンパス >>> 10.13.Sun おとなの遠足



343名の方にご参加いただきました！

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e



山崎 奈緒美

大阪出身
就職で上京し、ソフトハウスでインフラエンジニア
地図情報システム開発会社でひとり情シス
旅行会社の情シス部門でクラウド担当
2020年9月に東京から札幌へ移住し10月よりコープさ
っぽろへJOIN
AWSのことならなんでも担当



小坂橋 由誉

serverless, container, database あたりの技術領域が大
好きです。
電子情報通信学会 第5回情報ネットワーク若手研究奨励
賞受賞
Senior Solution Architect for @PingCAP
- JAWS-UGコンテナ支部コアメンバー



丸本 時麒斗

ウェブページの一部作成を担当しました！



若松 正美

札幌在住のデザイナー
今回のイベントのデザイン担当
グラフィックデザイナーからはじまり、WebやUI周りの
デザイン・ディレクターを経て現在はデジタルプロダク
トのデザイナー
実は過去にも時々JAWSイベントのグラフィックのお手
伝いとして参加

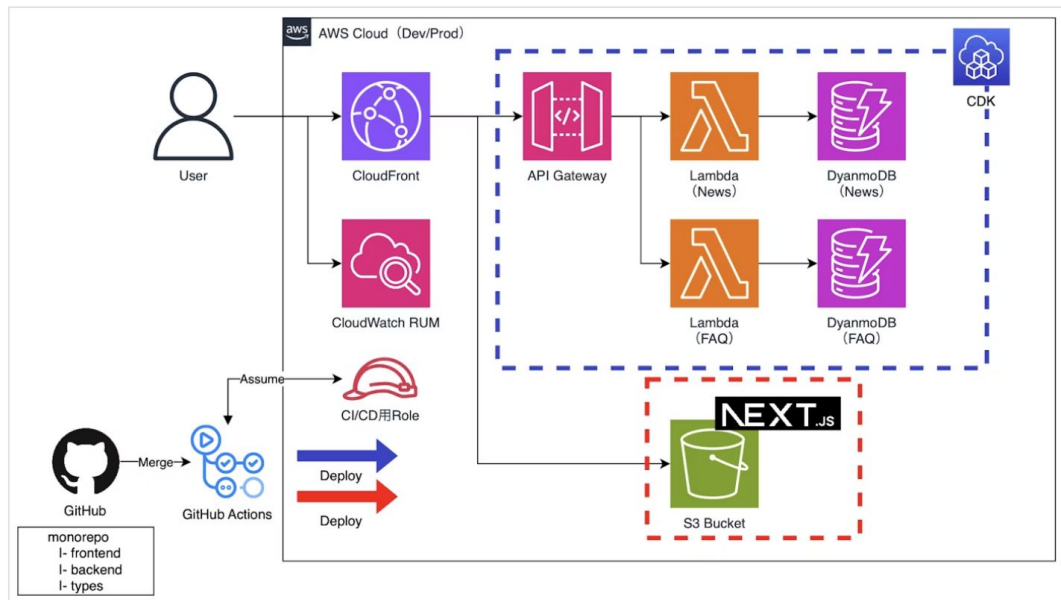


<https://jawsfesta2024.jaws-ug.jp/staff/comitee/>

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

構成オーバービュー

早速本題ですが、JAWSDAYS2024のティザーサイトは下記のような構成で運用しています。

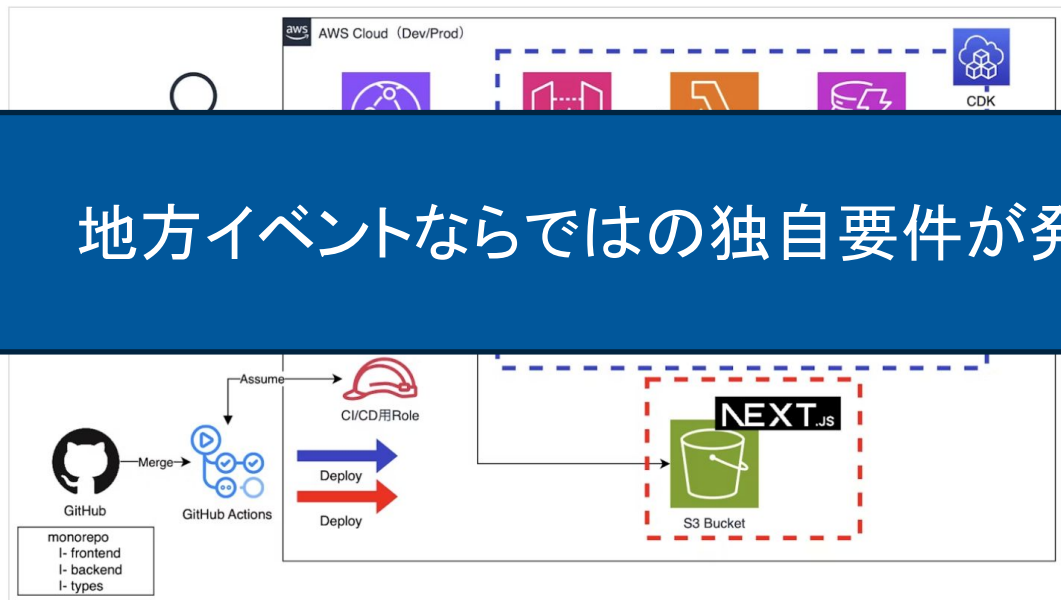


<https://qiita.com/takuyayone/items/1eded2dedf96fbb500f5>

ハッシュタグ: #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

構成オーバービュー

早速本題ですが、JAWSDAYS2024のティザーサイトは下記のような構成で運用しています。



地方イベントならではの独自要件が発生

<https://qiita.com/takuyayone/items/1eded2dedf96fbb500f5>

ハッシュタグ : #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

バス移動



10月12日(土)・13日(日) 限定

酒バスウォッチ

酒まつり会場バス停(広島銀行西条支店)



QRコードを読み込むと
シャトルバスの
位置がわかる!

広島大学中央駐車場



酒まつり

JAWS FESTA
2024 in 広島

Produced by SORACOM UG
Powered by AWS & SORACOM
Supported by 株式会社ソラコム

Presented by JAWS FESTA 2024 実行委員会

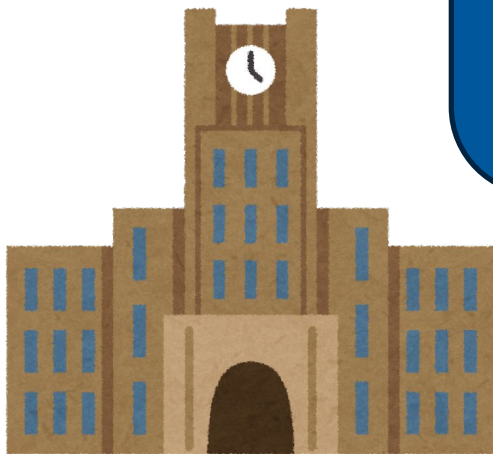


古里 武士

JAWS FESTA 2024 実行委員 会計・サポーター(ファン
ドレージング)など担当
岡山県倉敷在住
プログラマー
地元岡山で複数のIT系コミュニティを運営・イベント
企画等行ってます
JAWS DAYS 2021 実行委員 配信班/当日オペレーション



Wifi個別ID



○要件

- ・大学の仕様として、Wifiは誰が何にアクセスしたかの管理が必要で、個別のID／パスワードでログインすることで、利用許可が可能です！
- ・どのIDで誰がアクセスしたかをリストで提出してください！

Wifi個別ID

○実行委員の会議

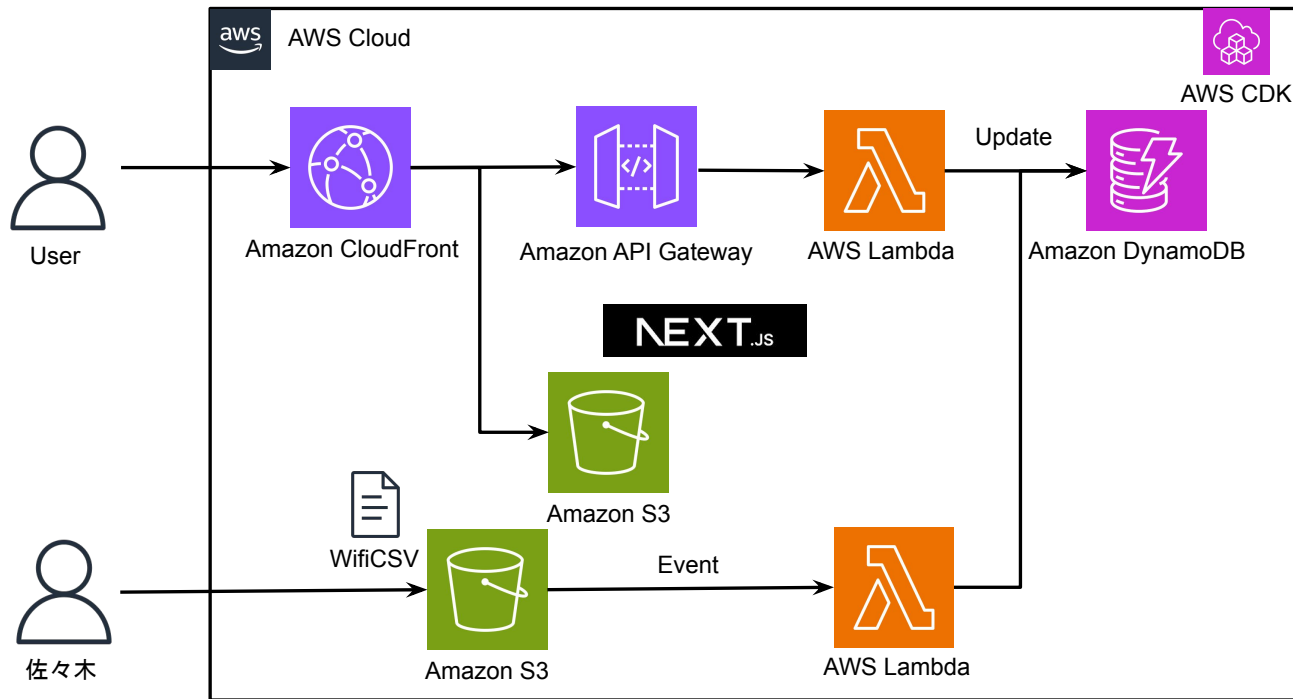
- ・SNSなどでの発信を促しているため、Wifiは提供したい

に難し

デジタルでうまく解決しよう！



Wifi個別ID



Wifiログイン情報

UserId:
 PassWord:

Email

受付番号

名前

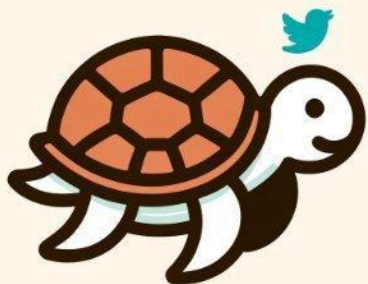
Wifi情報取得 クリア

JAWS Festaには**JAWS × 地方**という面白さがあります！

AWSの知識を活用して実行委員してみませんか？

JAWS UG配信部のインフラ

自己紹介



Ryo Aihara
X: @raiha_tec

- 仕事
 - セキュリティ
 - SOCやログ分析基盤を作ってます
- 趣味（最近やってない）
 - 自作スピーカー、自作キーボード
- 好きなAWSサービス



ECS



CDK

- 配信部入部のきっかけ
 - JAWS-UG東京 ランチタイムLTで存在と募集を知る



JAWS-UG配信部

～発足からの歩みと感謝～

What is JAWS-UG STREAMSERS?

日本のAWS User GroupであるJAWS-UGの
イベント配信サポーターチーム(有志)

支部主催の勉強会をYouTubeへ配信します！

活動内容

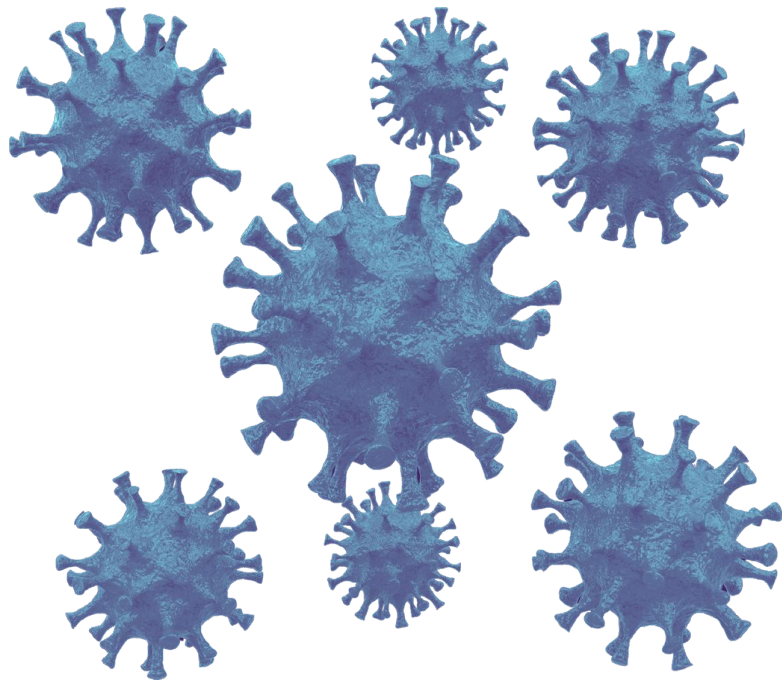
準備：各支部運営との調整、素材作成

当日：リハーサル～配信対応

後日：YouTubeへのアップロード



配信部発足に至った背景



Background to the launch!

国内でのパンデミック拡大に伴い、それまで
オフライン開催が主体のJAWS-UG勉強会にも
急速にオンライン配信需要が増加

Community Program Managerとして、
単独で配信を行っていたAWS Japan 沼口氏の
活動において、**次の問題が徐々に肥大化**

Next Page 

PROBLEMS!!



別業務や出張等で支部の
希望日に開催できない！

配信準備作業が爆増！！
もちろん体調を崩せない！

同日同時刻に勉強会を開
催できない！



という経緯で誕生したのが。。。 

JAWS-UG 配信部

JAWS-UG-STREAMERS



ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

サポート回数はおかげさまで

約80回

東京支部、初心者支部、CDK支部、SRE支部、
コンテナ支部、OPS-JAWS、STORAGE-JAWS、
SECURITY-JAWS、他多数！

配信部発足により良い流れが！

for 参加者

- 部員作成のオープニング動画で始まる前のワクワク感を！
- Sli.doやSNSの質問を拾ってリアルタイムでテロップ化！

for 支部主催者

- 複数人で分散して対応
事前準備から配信までスムーズなご連絡を！
- アーカイブの一般公開をいち早く！

for 配信部員

- 支部を超えた新たな出会い！
- JAWS-UGを通して、他イベントでも活躍の機会も！

オープニング動画でワクワク感アップ！

- 勉強会のオープニング動画のパターンを配信部員で作成
 - オンラインは**ほぼ全てに対応！**
 - テンプレートも**複数作成！**



質問をリアルタイムにテロップ化！

- Sli.doやSNSからいただくコメントを**リアルタイムでテロップ化！**
- アーカイブ動画でも質問がわかりやすく！



複数人体制によるサポート！

- 準備・配信を複数人でサポート！
- リハーサルやイベント中にお待たせしない連絡の体制に！
- 配信トラブル時にも2名で作業分担し、**配信部員もマルチAZ！**



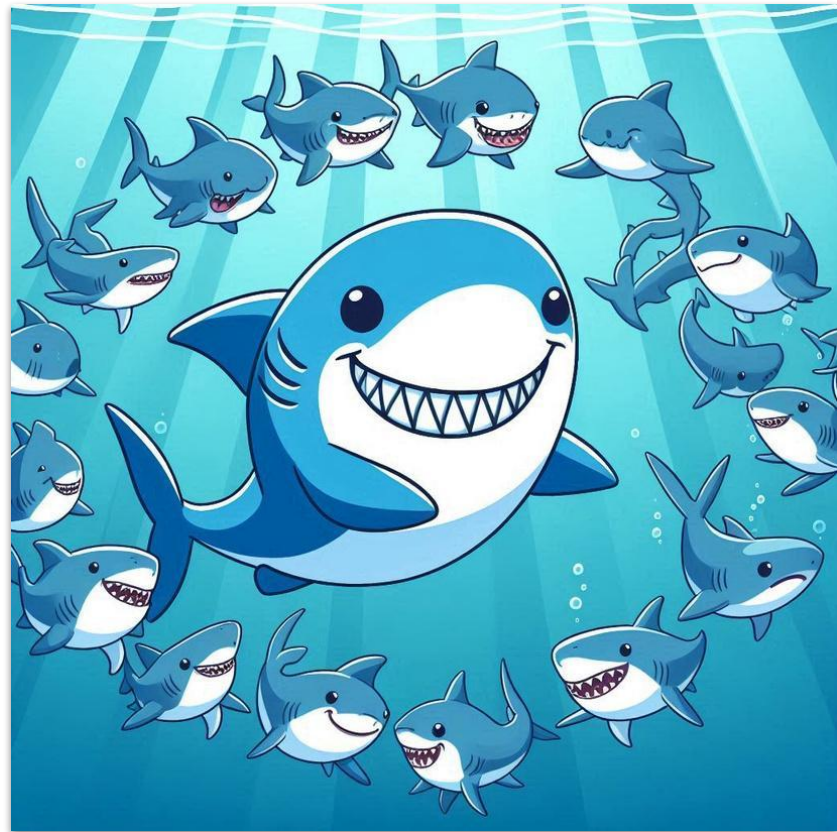
アーカイブ公開をより早く！

- 今まではアーカイブ公開に数日…
 - 配信部員増加により1～2日程度でアーカイブ公開可能に！
- 参加者の「**見たかった…**」**欲を満たせるよう**に頑張ってます！



配信活動を通じた新たな出会い！

- 勉強会を通じた新たな出会い
 - 今まで**関わる機会**のなかった支部とも関われる機会に恵まれる
 - 支部運営の皆さんとのコミュニケーションが発生し輪が広がる
- 他イベントでも活躍の機会も
 - **新たな活躍の場**で輪が広がる



配信形態

配信部では希望に応じてオンライン・ハイブリッドに対応しています！

オンライン



ハイブリッド@目黒



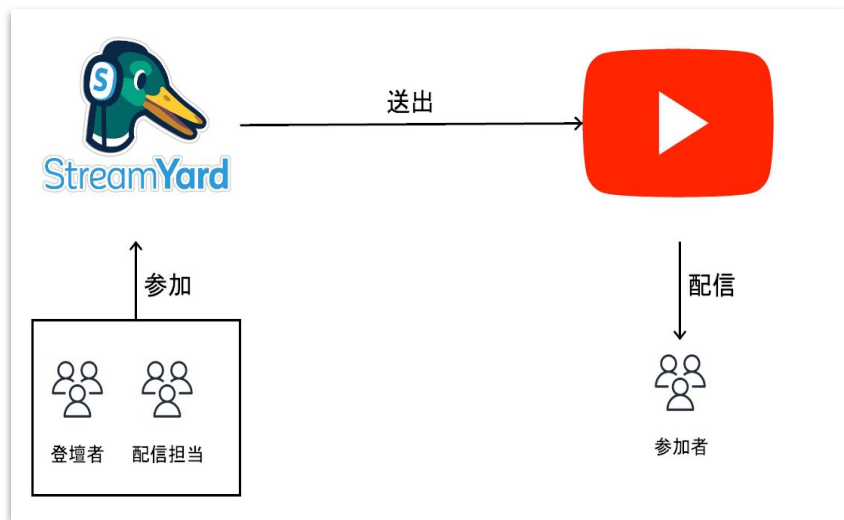
オフライン



動画をいただければYouTube公開対応します！

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

オンライン配信にはStreamYardを利用！

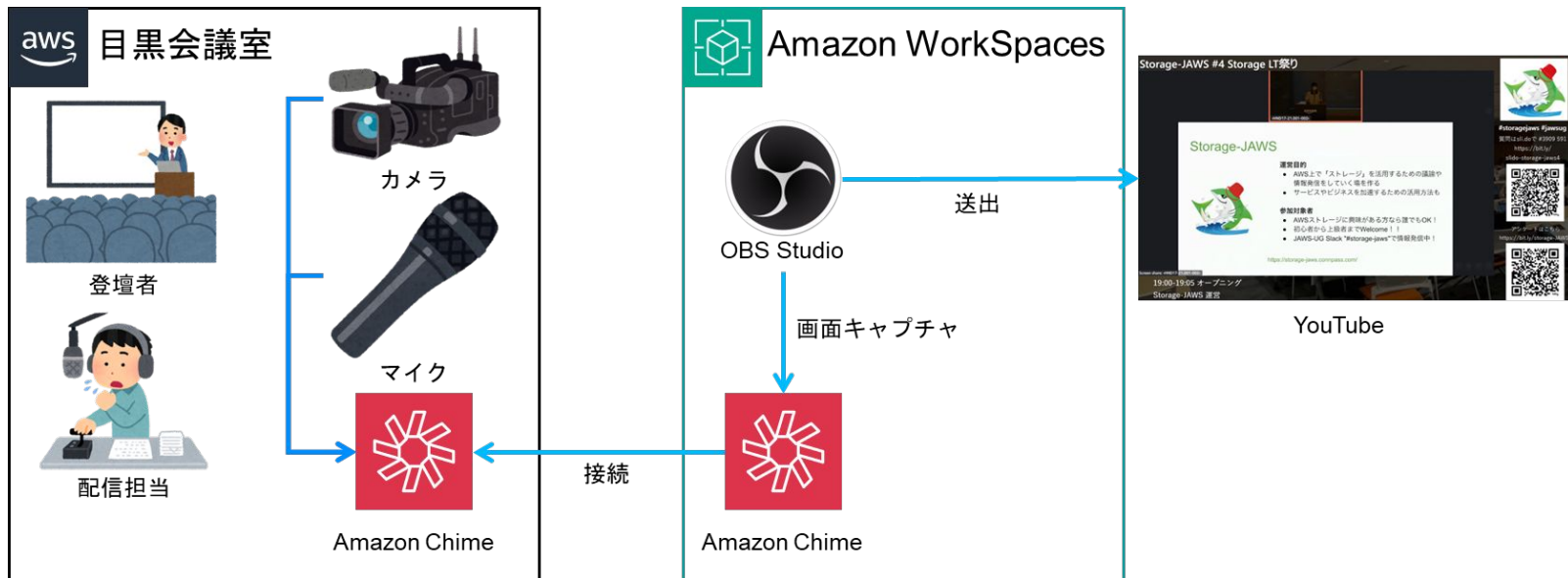


配信構成



実際の配信画面

Amazon WorkSpacesからOBS Studioを立ち上げYouTubeへ送出！



配信部よりメッセージ



JAWS-UG

AWS User Group - Japan

**JAWS-UG に関わる全ての皆様
いつも本当にありがとうございます！**



配信部員
募集中！



今なら
コレもらえる！

入部して
活動するだけで



ピンバッジ鋭意作成中！

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

JAWS-UG事務局インフラ

自己紹介

小寺 加奈子 (@Kanakano Kodera)

NetAppでSales Specialistとしてクラウドの利用推進を担当。

- AWS Community Builder (Cloud Operations) since 2024
- AWS Top Engineers (Services) 2023
- JAWSクラウド女子会運営
- JAWS事務局のインフラ担当

趣味はお琴、読書



2024年度の担当

第25条 インフラ担当は本会の各担当が円滑手続きなど遂行できるようにインフラストラクチャーを整備する。



正：小寺

(クラウド女子会)



副：吉井

(OPS JAWS)

こんなときに相談を受ける

Festa2025のためのサイトを
作りたい。
AWSアカウントを提供してほしい

新しいドメインを発行してほしい

作業するのにAWSへアクセスしたい

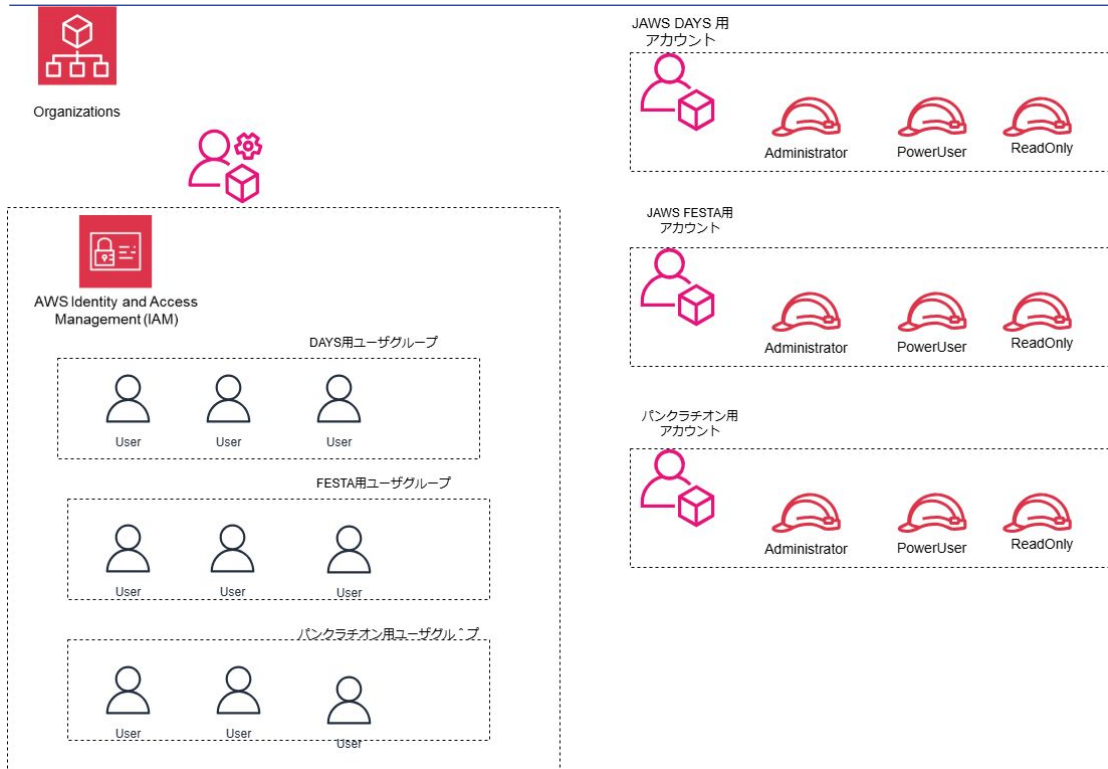
定常的な業務内容

- 定期的なパスワード更新
- 支部用のbacklogプロジェクト作成
- イベント用のbacklogプロジェクト作成
- ドメイン管理、サブドメイン作成含む
- 事務局用及びイベント用AWS アカウントの払い出し
- AWS利用料の管理とクレジット適用
- ドアキーパーの事前決済追加 (Stripe連携)
- IFTTTの管理
- サイトの静的化

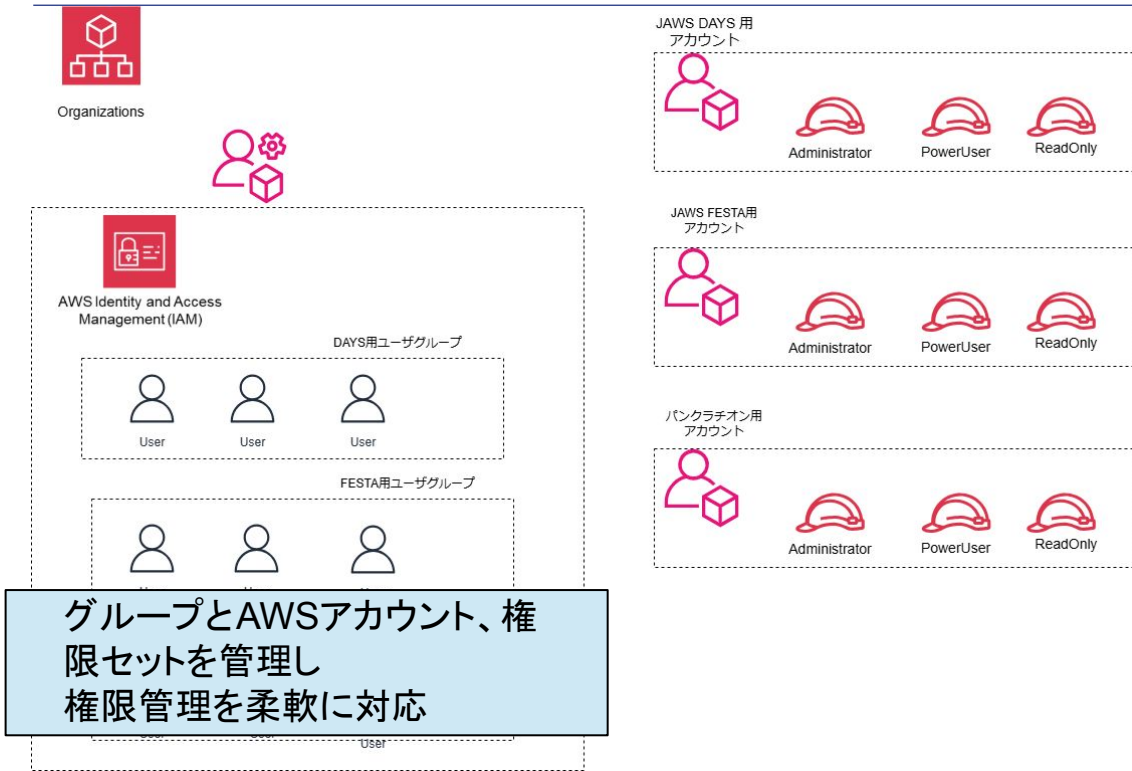
特にAWSの運用管理のコンセプト

- ✓ 1年での引継ぎを前提とする
- ✓ 「管理」する対象を極力減らす
- ✓ 誰でもできるシンプルな構成：例）過去のイベント用サイト

例) イベント用インフラのアカウント構成



例) イベント用インフラのアカウント構成

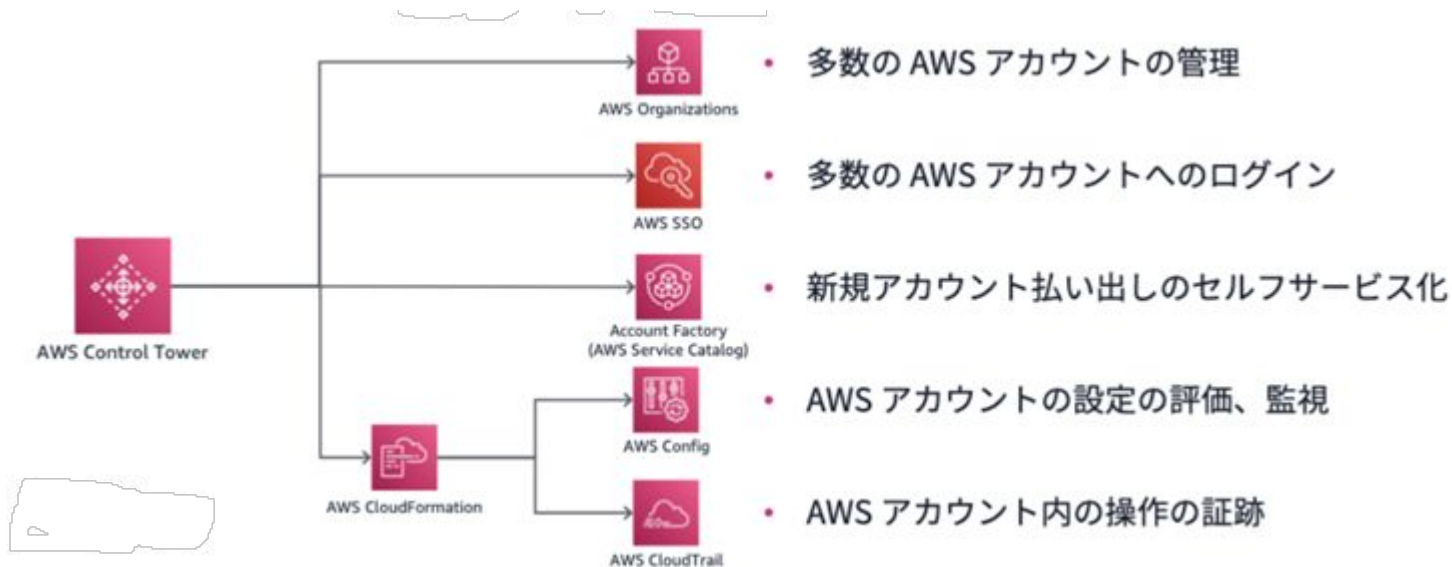


✓ Organizations管理アカウントにはIAMユーザを作らない

✓ IAM Identity Centerでグループを作り、イベントが終わったら、削除

✓ 任期終了時にインフラメンバーもIAM Identity Centerから削除

Control Towerを利用した一元管理



Control Towerを利用してやっていること



AWS Control Tower

- ✓ 監査/ログ専用のアカウントによるログの一元管理
- ✓ AWS IAM Identity Centerと連動したユーザの一元管理
- ✓ 利用可能なリージョンの限定（使えるのは東京、バージニア北部）
- ✓ ガードレールによる統制

まとめ

1. AWSの知識を活用して事務局メンバーとして活動しませんか？
2. 他社の方と一緒に事務局運営することで色々な気づきや学びが得られる

JAWS Days 2025のインフラ (今、稼動中!)

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

自己紹介

小巻 玖美 / こまきち x: @komakichidev

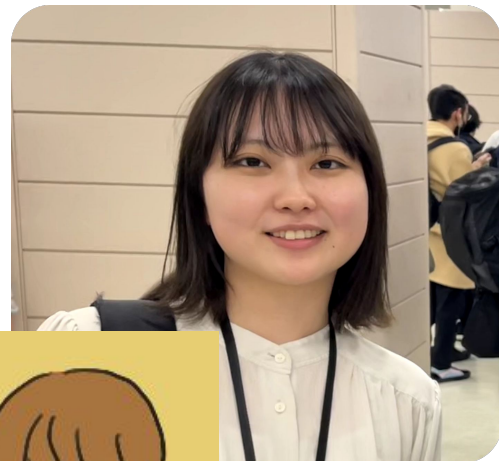
- ・ 某Slerで開発エンジニアしてます
- ・ JAWS DAYS 2025 WEB担当

実は JAWS DAYS 参加は 2回目

(2024に初めて参加、2025は運営に飛び級)

ついでにコミュニティ参加歴も1年くらい

多分、みなさんの方が大先輩



ハッシュタグ : #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

実行委員		
■ コアメンバー		
No	名前	所属支部
1	新居田 晃史	
2	好光 泰章	横浜支部
3	武澤 慎	横浜支部
4	山口 正徳	横浜支部
5	尾谷 紘平	千葉支部
6	古里 武士	初心者支部
7	米澤 拓也	岡山支部
8	小巻 玖美	Fin-JAWS
9	小寺 加奈子	無所属
10	伊藤 博美	クラウド女子会
11	小坂橋 由美	DE&I
12	清家 史郎	コンテナ支部
		福岡支部
NRI 早川 愛 (Fin-JAWS) 、AWS 沼口 繁		
■ アドバイザー		

7	米澤 拓也	岡山支部
8	小巻 玖美	Fin-JAWS
9	小寺 加奈子	無所属
10	伊藤 博美	クラウド女子会

But
最近IoT支部に所属しました！

← JAWS FESTA 2024 in 広島 にて

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

JAWS DAYS 2025 WEB班



米澤さん



私

- ・ JAWS DAYS 2024 WEB班
 - ・ JAWS PANKRATION 2024 WEB班
- を経験されてる大先輩

一方、何も知らない素人
負んぶに抱っこ



ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

レスポンス対応



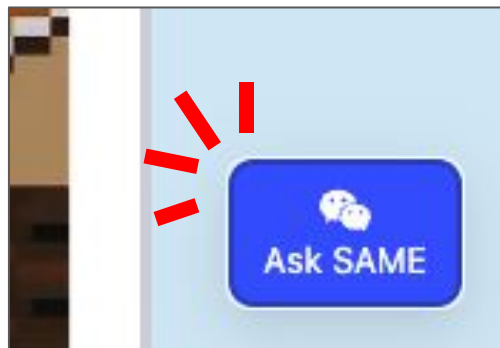
SNS 壁紙メーカー



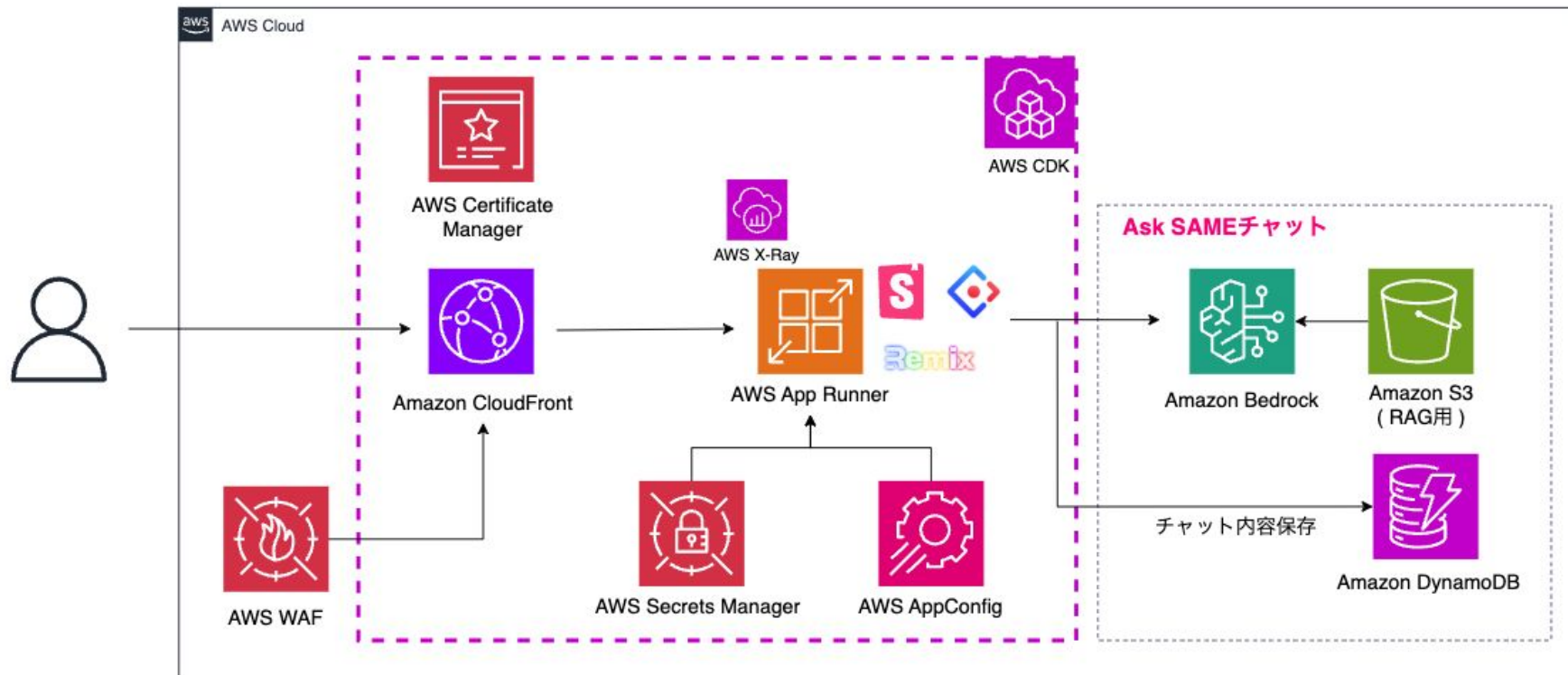
ハッシュタグ : #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

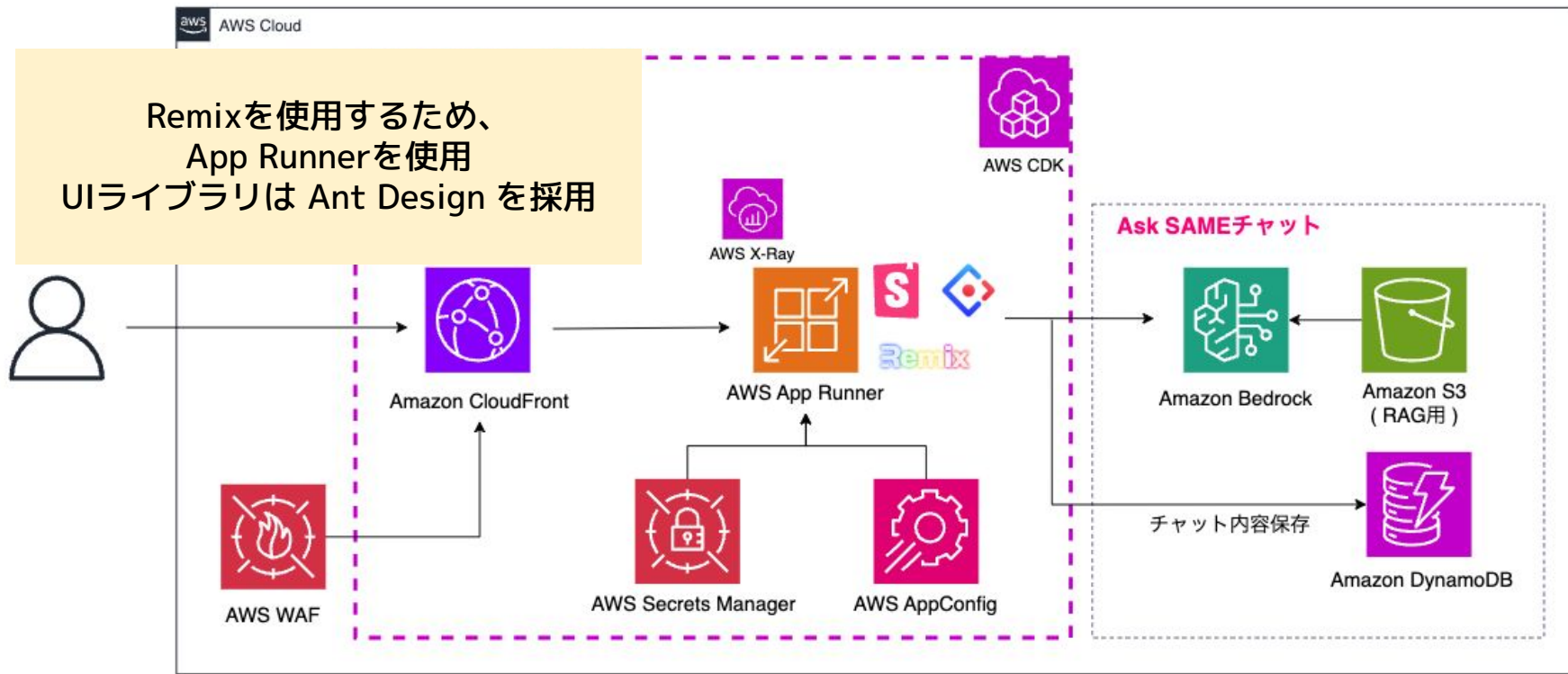
Ask SAME 常設してます（**JAWS DAYS**中も使えます！使ってね！）

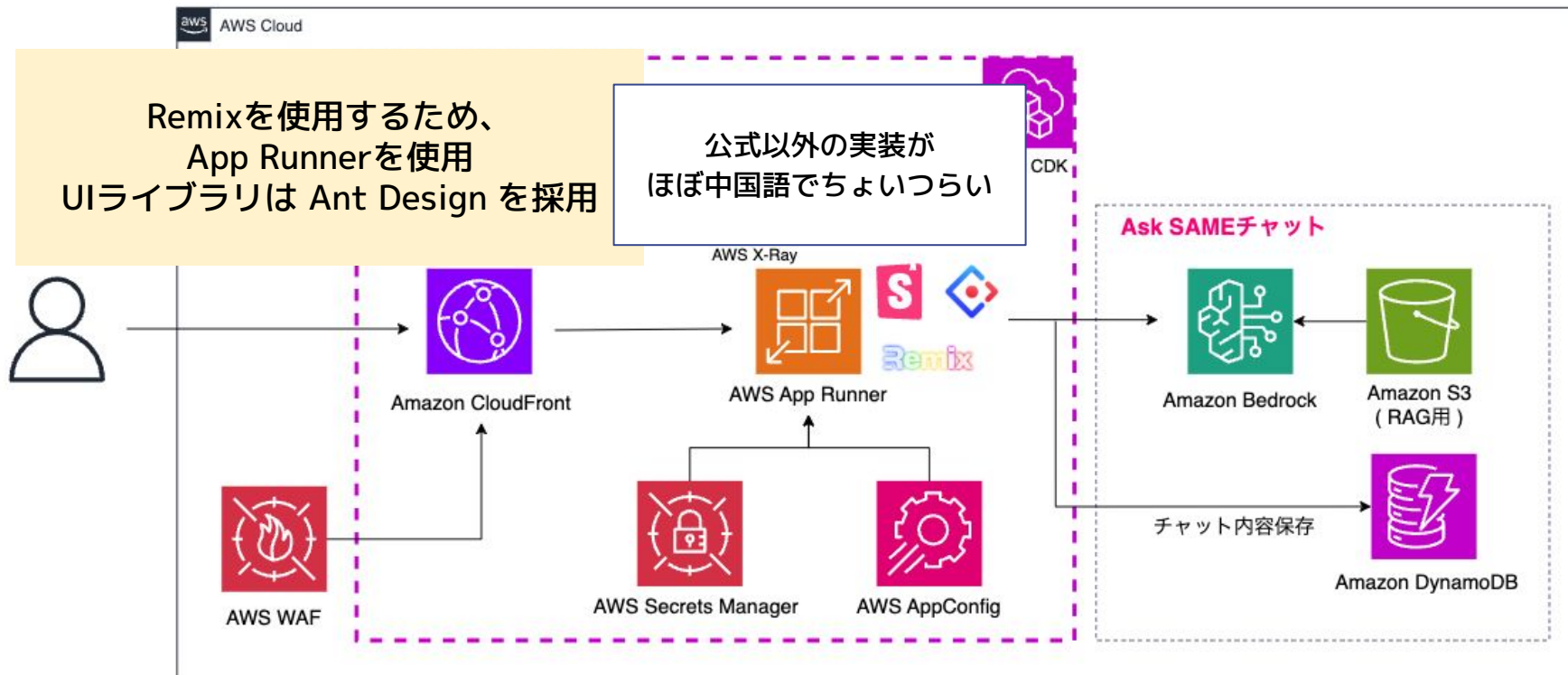
画面右下のボタンから

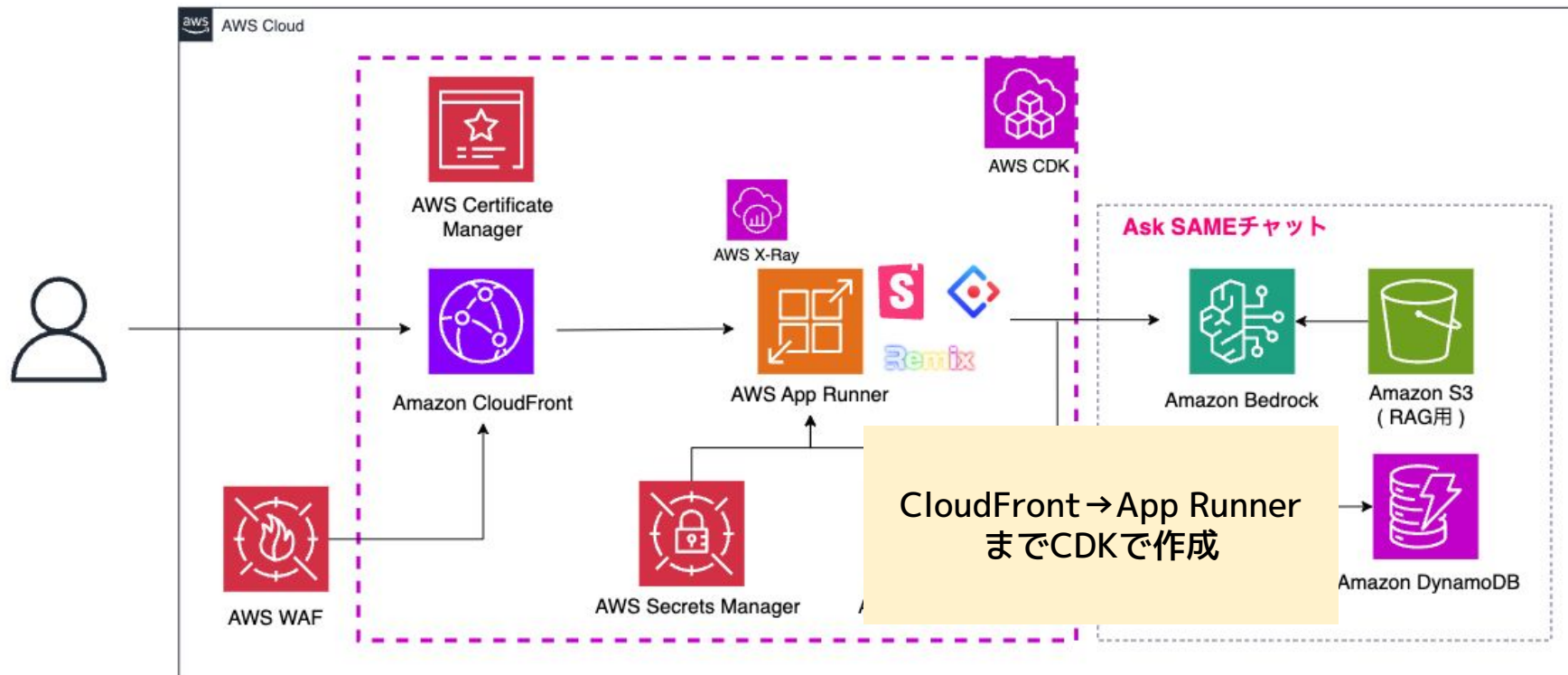


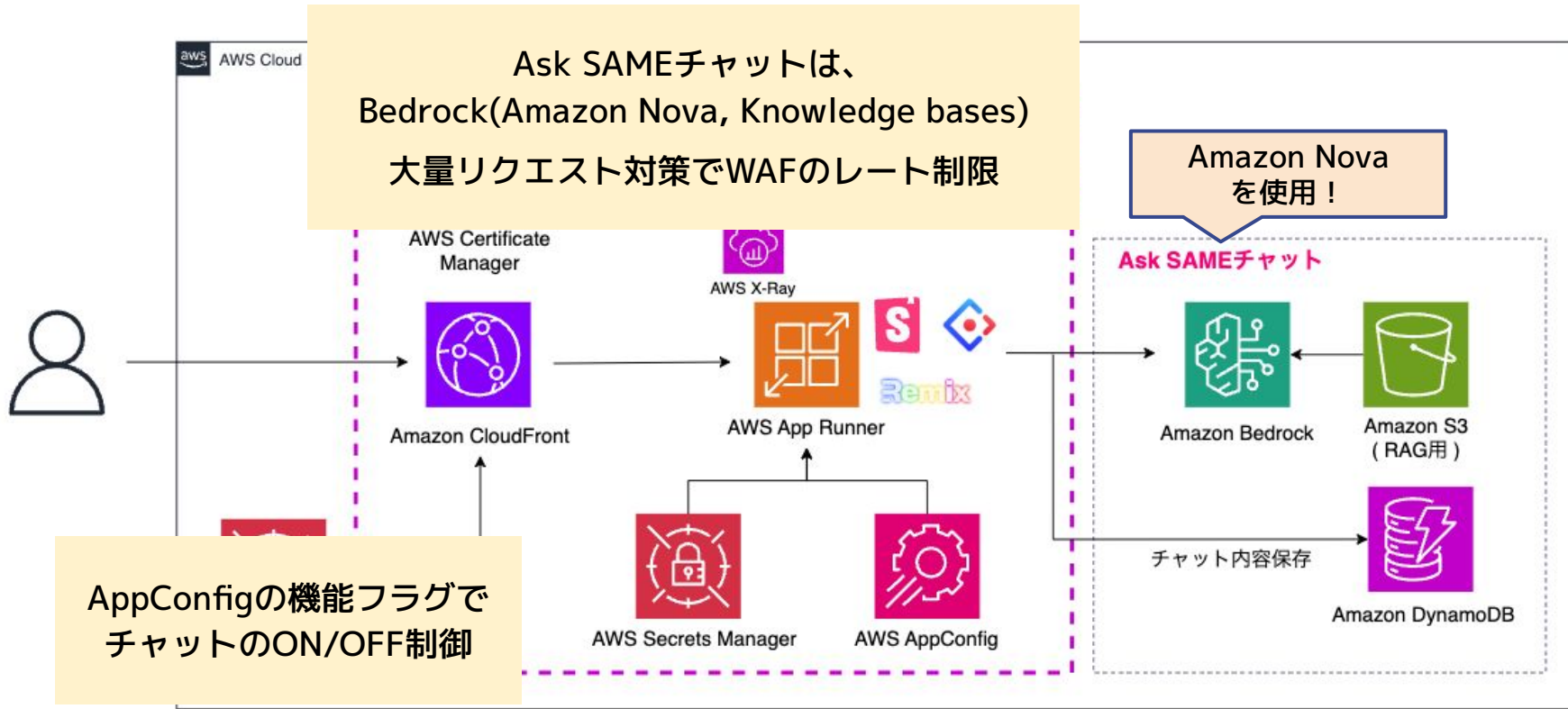
ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e











NEWSの部分は、microCMSを使用しているためWEB班以外が投稿できる
(JAWS PANKRATION 2024 踏襲)



microCMS

タイトル

当日のご案内、会場マップを公開しました

19

記事内容

段落 ▼ B I U G <> A T - # <> 図 表 挿入 カスタム ▼

■ 当日ご案内

当日の受付時刻や受付時刻、会場内での注意事項を記載しています。
お越しの前に御覧ください。

<https://jawsdays2025.jaws-ug.jp/about/welcome>



NEWS Headline

[2025-02-24] 📅
当日のご案内、会場マップを公開しました

[2025-02-02]
企業サポーター、個人サポーター、タイムテーブルを公開しました

[2025-01-25]
お祭りトラックの内容を公開しました！

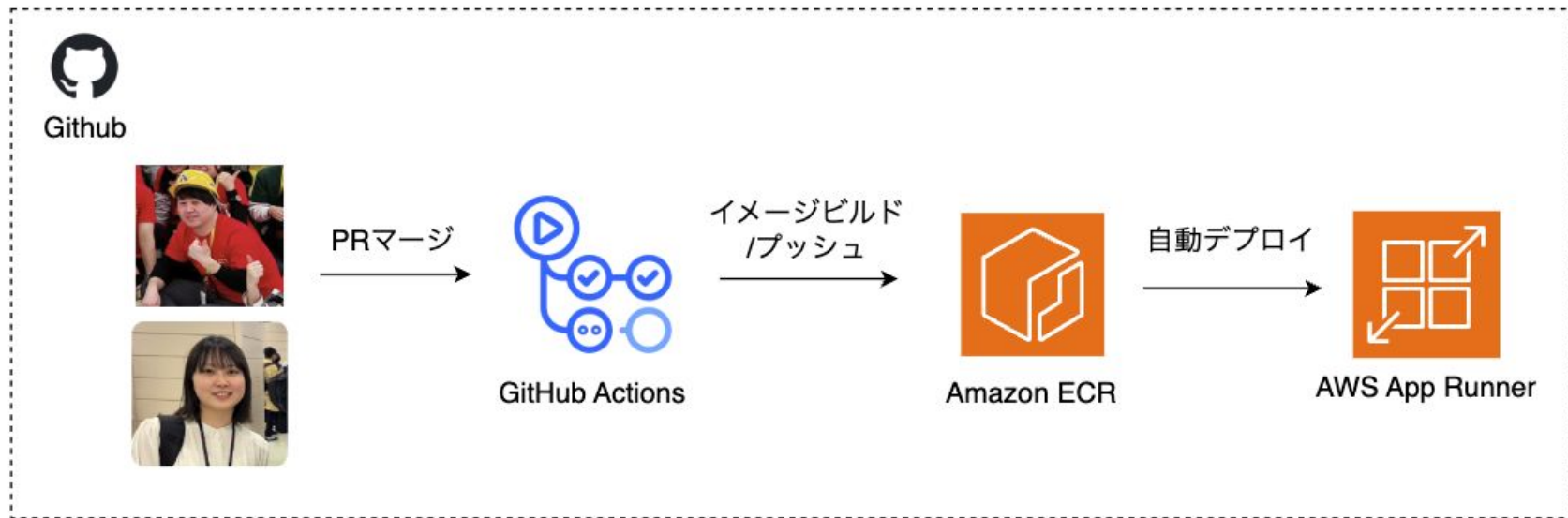
[2024-12-25]
Gold・Silver・Lunchサポーター募集開始のお知らせ

[2024-12-24]
Platinumサポーター募集締め切り

[More...](#)

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

PR がマージされたら自動デプロイされるので、開発がめちゃくちゃ楽
(こちらも JAWS PANKRATION 2024 踏襲)



ここまで話した部分は、ほぼ米澤さんが作ってくれた……！！（神）

私は App Runner にデプロイする
アプリケーションの中身をいじっただけ

本当にありがとうございました…

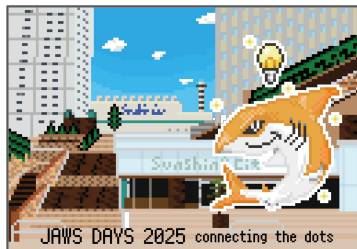


generated by Nova Canvas 1.0

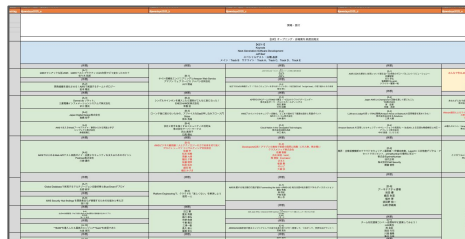
ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

(WEB自体ではないけど) WEBに絡む制作話

いろんな人の協力があってWEB公開まで至ることを知る



デザイン作成



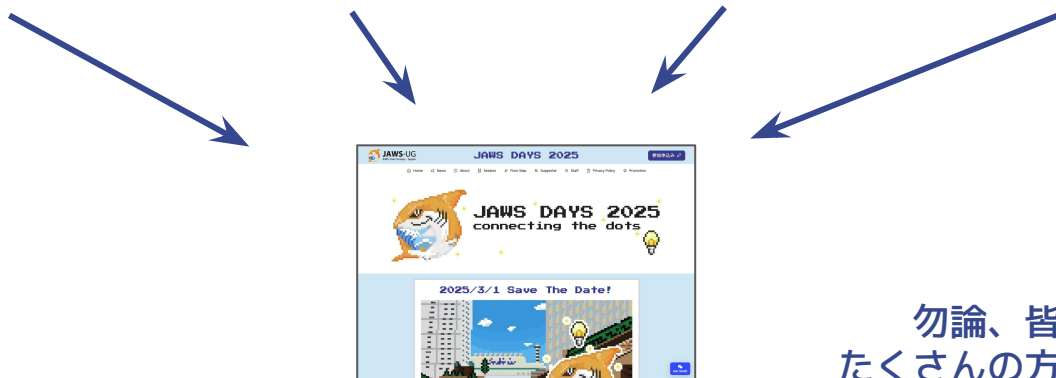
タイムテーブル情報の収集
変更も連携



スポンサー様の
情報連携

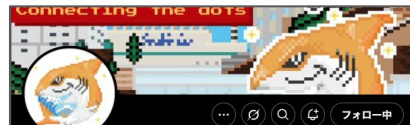
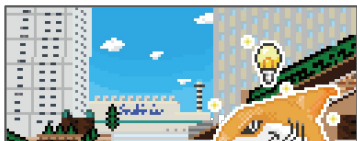


SNSでの告知



勿論、皆様含め他にも
たくさんの方の力が働いている

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e



初めてJAWS-UG イベントの運営に入って コミュニティの強さを痛感



勿論、皆様含め他にも
たくさんの方の力が働いている

ハッシュタグ：#jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e

さいごに

JAWS-UGでは年間を通じてさまざまなイベントを開催しており、コミュニティのメンバーが協力してそのインフラを構築・運営しています。

そこでは、AWSのパワーユーザーならではの視点で技術トレンドを追いつつ、時間や予算の制約などの現実との擦り合せが行われています。

積極的なご参加お待ちしております！次はJAWS Festa 2025 in 金沢！

是非 SNSでの Web または DAYS自体の
フィードバックお待ちしております！！

Thank you !

JAWS DAYS 2025は始まったばかり…

ハッシュタグ : #jawsdays2025 #jawsug #jawsdays2025_e



Please answer this survey.  

アンケート回答にご協力をお願いします！
以下の URL にアクセスしていただくか、スマホは
QR コードを読み込んでご回答ください。

<https://FjwQm1F.bit.ly>



⋮ 全体アンケート ⋮



⋮ セッションのアンケート ⋮

